

# あゆみ

## 氷川学園広報部

〒869-4602 八代郡氷川町宮原1116

TEL (0965) 62-4081

FAX (0965) 62-4080

Mail [hikawagakuen@seiryu-hikawa.com](mailto:hikawagakuen@seiryu-hikawa.com)

HP <https://hikawagakuen.com/>

氷川学園



40th anniversary  
Start!!



## 四十年

社会福祉法人清流会・氷川学園、今年で四十周年を迎えました。四十年という歳月をこの桜ヶ丘の地で過ごしてきたのも、地域の皆様の温かいご支援・ご理解あつてのことです。関係機関始め出逢つてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

三十周年の時のようにみんなが集い祝うということが残念乍ら出来ない状況下で、せめても「記念誌」と付録として「日めくりカレンダー」を作成し、関係各位に届けさせて頂いた。日めくりカレンダーは、利用者さんの作品に心に留まる言葉・格言・歌詞などを添えた。手前味噌ながら、利用者さんの手による作品をじっくりと眺めていると心が洗われていく。作者を知り得ている者の感情だとは思いますが、少なからず好評の声をいただき、足して譲ってもらうことは出来ないかとの問い合わせもいただき、嬉しいばかりである。もちろん、ご希望があればお分けできるので、どうぞ遠慮なく申し付け下さい。

四十年と云う歳月には、あまりにも膨大な想いが詰まっている。良いこと・楽しかったことばかりが思い出されるが、当たり前前に、そうでない出来事にも、必然であったと思うこともあれば、「何故？」この体験をしなければいけなかったのかと、思ひ悩むことも有る。現在進行形で私たち清流会の全職員が抱えているのは「森田修代さん」の行方である。

ご承知おきの方もいらつしやると思うが、四年五ヶ月前に忽然と行方が分からなくなり、当時警察・消防の皆さんをはじめ、施設のお仲間や一般の方々まで大捜索をしていたのだが、今尚、手掛かりないままである。手掛かりがないということが、きつと何処かで誰かにお世話になり元気でいてくれるものと信じている。

四十周年記念の日めくりカレンダーに載せている「いま ここにしかない」わたしのいのち あなたのいのち「笑うことを忘れるな 泣くことを忘れるな 感謝することを忘れるな」の二文は、修代さんの書である。私たちの中で一時も彼女のことを忘れるということは無いのだが、どうか多くの人々に、帰りを待ち続けている人間が、ご家族がいることを、今一度想って欲しいという願いも込めた。記念誌と日めくりカレンダーを、修代さんのお母さまに届けたところ、涙ながらに「こんな味のある字を書いていたのですね。先生方のお陰です。」とお礼を言われ、お礼を言わなければいけないのはこちらの方だと返している。お陰様で素敵な作品が出来たと感謝しかない。修代さんと私は同じ歳であり、ご両親の年齢もほぼ同じ、私たちはよく似た家族構成で、近隣の地区で生まれ育った。何かの縁であろうと勝手に思っている。ご両親の胸中を思えば、私に何か出来ることなど無いに等しいが、時折お母様と他愛もない話をさせてもらうことが、今の楽しみになっている。

長い時間を共に過ごしてきた仲間たちも、ご家族も一緒に歳を重ねた。家族でありたいと…親亡き後を考え、開設された氷川学園ではあるが、今年に入り、入所部・グループホームご利用のご家族三人を見送ることとなった。いずれも、コロナ禍の影響で、療養中の面会もままならず、最期の見送りに参列させてもらえたことがせめてもの事となった。見送ったお父様・お母様・お祖母様、皆さん、家族会の活動にもよくご協力くださり、愛情いっぱい我が子・孫を育ててくださった方々ばかりである。コロナ禍において、多くの行事・催しが中止となった今、家族旅行や数々のイベント・研修会などの交流の場で、一緒にした沢山の思い出が蘇る。賑やかで楽しかった時間を過ごすことがこの先、今一度来るのだろうか、半信半疑になってしまいが、必ず収束の日を迎えることが叶うと信じたい。

ワクチン接種も、入所・グループホームの六五歳以上の人からの予定が五月上旬から組まれてきたが、それでもまだ暫くは、コロナ禍における新しい生活様式に順応していくことが必須である。繰り返し、基本的なことを守り、正しく恐れながらも、出来る形で思考し試行することかと思う。四十周年という記念すべき節目の号に相応しい内容の記事になっているのか不安であるが、これまでを振り返るだけでなく、この時間を礎に、これからの毎日を、新しい様式に乗っ取って、一歩一歩進んでいくしかないのだろう。最近よく「支援者としてのモチベーションをいかに保つか？」ということが話題に上がるが、「やりがい」を何に見出すかということであろうか？もちろん、人様々で：経済的なことが大きい人も、職責・役割の更なるアップが励みになる人もいるだろう。自己研鑽を重ね資格取得に努め、それを実践に繋げ結果を生むことである人もいれば、共に働く仲間とのコミュニケーションに見出す人もいるだろう。一つのことではなく複数のことが相まって「モチベーション」になっていることの方が多いのかとも思う。

## 桜の樹の下で

自分自身に翻って考えると、綺麗ごとで聞かせるかもしれないが、一言でいえば「利用者さんの存在」に尽きる。自分の仕事人生三十七年を支えてきてくれたのは、紛れもなく一人一人の利用者さんと過ごした時間であり、みんなからももう嬉しいエピソードの数々、失敗したことも含め、現場でのやり取りの一つ一つの出来事が私の背骨になっていることは確かである。勿論、共に働いてくれている仲間の存在も大きいですが、その真ん中には、いつも利用者さんの存在が有つてのことだと思っている。シンプルなことである。彼らといると楽しいから、私はこの仕事を続けている。皆に押し付けるわけにはいかないが、皆もそうであつてくれると嬉しいと、葉桜の下で、四十年目のスタートに思っている。



社会福祉法人清流会「水川学園」が創立40周年の節目の年を迎えました。日頃より支えて下さっている皆様に感謝申し上げます。

今年度号は水川学園で働く支援者の想い出や経験談これからの抱負と題し、研修の窓のページを

### 【支援者の窓】

としてお伝えしていきます。

社会福祉法人 水川学園が40周年を迎えました。私自身、平成7年4月に入職させて頂きまして、今年で27年目を迎えます。福祉の学校に通って勉強したわけでもありませんでしたが、家族に障がいがあるものが出て、日々関わっていることから面接を受け、採用させて頂きました。

面接時のことは今でも鮮明に覚えています。面接をして頂いたのは、初代施設長 西坂哲と現施設長 西坂千賀子でした。冒頭にお約束の水川学園に就職を希望した動機・・・次に「音楽は好きですか？」との問いでビックリしたのを覚えています。入職してからすぐに分かりました。自分は学生時代、スポーツはしていましたが音楽に関しては興味も全くありませんでした。当時、水川学園では週に何度か音楽の時間が設けられ、一大イベントとして年に1回、地域の方や関係機関・ご家族を招待し「よせなベコンサート」を開催してきました。音楽に興味がない、苦手な自分にとっては、楽器を利用者様に教えることなどできず、利用者様と一緒に先輩職員に指導して頂いていました。悪戦苦闘の日々

### 40th anniversary

だったのを思い出します。「よせなベコンサート」ではプログラムの中に劇もあり、先輩職員は利用者様と楽しそうに演じて笑いをとられており、利用者様やお客様に楽しんでもらう為に、自分もこれならできるのではないかと思い練習に励んでいました。(恥ずかしがりやですが...)結局、楽器を使うことは上達しませんでした(笑)

「よせなベコンサート」のようなイベントを開催し、利用者様や地域の方々、関係機関の方々・一般のお客様等、皆さんが来場され喜んで頂くことで、障がいについての偏見や差別をなくし、理解に繋げていく必要があることを当時、現施設長から学びました。入職時は活動班として農作業班に所属させて頂き、野菜作りやシイタケ・晩白柚の栽培と利用者様と初代と一緒に汗を流しました。毎日よく叱られて仕事をし、大げさかもしれませんが常に一緒に居たいと思います。農作業だけでなく、書類書きなど：「今日の仕事は、今日のうちに終わらせる」が口癖で「明日します」など言えなく、又「当直明けです」「明日は休みです」など言えずにいました。(今の時代だったら...)しかし、そのような関係が全く苦痛とは感じず、毎日利用者様と初代と農作業に取り組んできました。自分も年を重ね、後輩を教育・指導する立場になり、初代の仕事に対する思いや実行力は引き継いでいかなければと改めて思っているところでした。

40周年を迎え、利用者様の状況も大きく変化しています。全国的に入所施設の高齢化、重度化が進み、当時と違い自分達に求められている支援も日々変わってきていると感じます。今現在

### 40th anniversary

の利用者様の状況やニーズに合わせ、高齢化・重度化に対応していく為にも自分自身が学び続けていく必要があると感じています。10年後、50周年を迎える時には利用者様の状況・地域・制度など様々なことが変わっているといます。変化についていき、清流会水川学園に尽力していきたいと思っております。

(副施設長 村山 智)

今回、水川学園開園40周年を迎えるにあたり、40年間を振り返り、今後に向けての抱負を書いて下さいと広報委員長からの声が掛かりました。私自身、自分の過去を振り返り、なぜこの仕事に就いたのか?ということをお返ししてみました。

私が中学生になった時、運動の出会いといっても過言ではない巡り合わせがありました。それは今、水川学園の通所に通って来られているSさんとの出会いです。Sさんとは1年生の頃から同じクラスで席も近くということもあり、移動や食事などのタイミングで手伝いをする事がありました。もともと人と接する仕事に興味を持っていくことも重なり、Sさんの手伝いをすることが自分の学生生活の一部となっていました。高校生になるとボランティア活動に興味を持つようになり、当時の養護学校や知的障がいを持つ方のイベント活動でのボランティアに参加する事が増えていきました。その当時のイベントの一つで「こころコンサート」というものがあり、そこで水川学園と私が初めて出会い、利用者さんとの関わりを持たせてもらう機会になりました。その後は水川学園の学園祭等に

### 40th anniversary

ボランティアで参加したりと高校生時代から水川学園とは繋がりが出来ていたように感じます。高校卒業後の進路として、福祉の道に進もうと思いついたのは、福祉の道に進もうと思いついたの自分は保育士を目指し専門学校へ通うことにしました。学校時代は保育園や施設での実習を行い、もちろん水川学園にも実習でお世話になりました。就職まで決める事ができました。水川学園に入職して、24年目を迎えることになりました。支援員からスタートさせてもらい、支援のイロハを先輩方からたくさん学び、利用者さん方からこの仕事のやりがいを感じさせてもらいながら日々を過ごしています。現在は裏方の業務が大半ですが、その中の一つ、採用業務等で学生さんから「仕事の楽しさ、やりがいは何ですか」と聞かれることがあります。私は「試行錯誤し続ける事が楽しい」と答えます。毎日、同じようなことがなく、奥が深すぎるのがこの仕事。困ったこともありすが、その分いろいろな答えがあります。長い間、利用者さんと関わってきましたが、それでもまだ知らないことが出てきます。この奥深さが分かると、仕事に対するワクワク感のような醍醐味を味わえるのではと思っています。利用者さんの笑顔、利用者さんを支えるご家族からの感謝の言葉。こんなやりがいをもって働ける仕事を選んでよかったですと思っています。そして、これからはこの醍醐味を伝える努力をしながら、次の世代へバトンをつなぐ役割をもって働いていこうと思います。そして、最後にこの仕事へ繋げてくれた同級生でもあるSさん。これからも宜しくお願いします。

(事業部長 山下 孝治)



# 氷川からの春だより

和紙ちぎり絵



「もみじユニット」書き初め作品

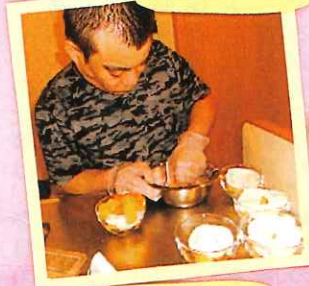


「カ」作!!



## 創作活動

ミニパフェ



ピンク色の和紙作り



わたがし

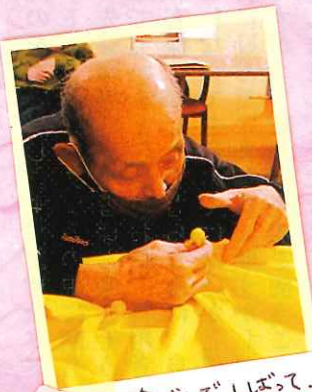


ふわふわとぬ

アメリカンドッグ



おやつ作り

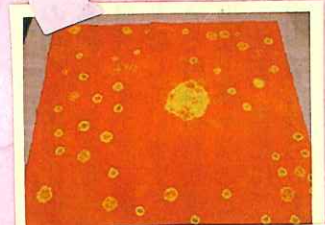


輪ゴムでしばって...

桜の花びらに変身!



桜の木の貼り絵



皆で作った絞染め

## 個別課題



## 栽培



チョコスコーン



出来たてをバクリ!!

## 音楽活動



大好きな歌に合わせてよ

梅の花 お花見



## 散策



ちょっとそまごみ お散歩



ホエイ音楽祭に向けて

大きな「にじ」制作風景



袴(かかしも)を着て  
豆まき準備OK!!



鬼は外!!  
福は内!!

ホエイくまもととておきの音楽祭  
～いまだからこそ動画で～



動画撮影中!



節分

みんなで飾り付け



ひなまつり



「さくらユニット」女性メンバーの記念写真

1月

プレゼント中身は何か?



誕生会

2月

3月

おたんじょうおめでとう



榎本さん祝傘寿!!



菜の花畑へ

園内のお花見スポット!!



お花見



ドライブ



龍峯やまびこ公園にて

送別会



退職職員と記念撮影



桜ヶ丘グラウンドにて

おやつを持って  
お花見ドライブ







蛭原 メイ子様 林田 靖恵様 吉村 匡由様 立花 明久様  
 園田 昇様 遠山 恵子様 宮川 弘喜様 嶽本 拓夫様  
 松本 良子様 武藤 多花彦様 藤井 明子様 平山 津代子様  
 (株)トータルメディカルサービス様 (株)田河東洋男商店様  
 熊本県社会福祉協議会様 社会福祉法人 御陽会様  
 障がい者総合支援センター ヴィラささゆ様  
 社会福祉法人友朋会 サニーサイド様

利用者様のご家族より、お心遣い頂いております  
 又、40周年に付きお祝いのお心遣い数々頂いています。  
 有意義に使わせて頂きます。



## 退職職員



倉田一平さん



林純子さん



田中秀樹さん

皆さん、大変お世話になりました  
 沢山の思い出ありがとうございました

## 退職職員からの言葉

この度、定年退職することとなりました。10年前、50歳で氷川学園に来た時、あと10年頑張れるかなと少し不安でした。でも皆さんと一緒にいるうちにあと10年しか一緒に過ごせないのかと感じた事を思い出します。そして、その10年が過ぎました。この10年には、いろいろな事がありました。特に震災後、不安の中での生活、仮設での暑さ寒さに耐えて暮らした時、そして、コロナ禍で外出もままならない日々は、長くつらく感じることもありました。それでも今思い出すことは、皆さんと過ごした楽しかったこと一杯です。田植えをしたり、旅行に行ったり、オハイエに参加したり、さをり織りを頑張ったり...50を過ぎて、初めて体験することが、こんなにたくさんあることに驚いたものです。楽しい思い出をありがとうございました。

保護者の皆様にも親しくして頂き、行き届かなかった点多々あると思いますが、温かく見守って頂き、ありがとうございました。

私も皆さんも10年歳をとりました。足腰が弱ってきた人も多くいます。今、皆さんの体の事が一番気になります。お互い体に気をつけて、元気でまた会いましょう。

林 純子

## 行事予定(4月~7月)

☆4月1日 開園記念日  
 (40周年)

毎月開催

★利用者自治会 たけのこ会  
 ★誕生会

行事・帰省等につきましては、  
 新型コロナウイルス感染拡大防止の為  
 状況により対応いたします

無資格・未経験者も歓迎

求人  
 募集

障がい者施設のお仕事

支援員・保育士・世話人・ドライバー  
 etc

他業種からの転職職員も多数います!!

\*話を聞いてみたい\*職場体験をしたい  
 \*見学してみたい \*ちょっと気になる方

お気軽に氷川学園へご連絡下さい

詳細内容(給与・休日等)は、  
 WEBページに記載していますので  
 そちらをご覧ください。



## 編集後記

令和3年4月1日

社会福祉法人清流会は創立40周年を迎えました。開所以来、皆様方から賜りました温かいご支援に心から感謝申し上げます。

これからも一層のご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

また、40年間の振り返りと致しまして、40周年記念誌を編集・発行致しております。付録で日めくりカレンダーがあります。ご希望の方は氷川学園までご一報ください。

お届けします。 広報部一同